

疫学情報 2018年7月11日分

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/newpage_00061.html

検疫所における「明治150年」関連イベント等の実施について

平成30年7月02日（月）

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 検疫所業務管理室

平成30年（2018年）は明治元年（1868年）から起算して満150年に当たる年であることから、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくことを目的として、政府一体となって関連施策を推進しています。

厚生労働省では明治150年関連施策の一環として検疫所で、「海港虎列刺（コレラ）病伝染予防規則」（※）の公布された日（明治12年7月14日）を記念した検疫記念日（7月14日）を中心に、さまざまなイベントを実施することとしています。イベント内容などの詳細については、各検疫所のホームページにて御確認ください。

また、検疫所では明治期から残る歴史的資料のデジタルアーカイブ化を進めており、7月14日以降順次各検疫所のホームページにおいて公開する予定です。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/1111212864.html>

平成30年7月05日（木）

第14回「はばたきメモリアルコンサート」を開催します。厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 医薬品副作用被害対策室

「はばたきメモリアルコンサート」は、輸入非加熱濃縮凝固因子製剤によるHIV感染被害により亡くなった方への追悼と、今なお厳しい現実におかれている被害者やご遺族の想いを広く国民に周知し理解と支援を求めるとともに、この事件を風化させないために、平成17年以降、毎年開催しているものです。厚生労働省もこのコンサートを後援しています。

【開催概要】

1. 日時平成30年11月14日（水）開演19:00（開場18:30）
2. 会場王子ホール（東京都中央区銀座4丁目7-5）
3. 入場料一般4,000円、学生2,000円
4. 主催社会福祉法人はばたき福祉事業団
5. 後援厚生労働省、日本赤十字社、日本製薬工業協会

※コンサートの詳細につきましては、はばたき福祉事業団のホームページをご覧ください。

<http://www.habatakifukushi.jp/square/hiv/cat103/14.html>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/2457-disaster/h30-7/idsc/8160-typhoon1807-20180710.html>

平成30年7月10日

平成30年7月豪雨に関する感染症関連情報

国立感染症研究所 感染症疫学センター

平成30（2018）年7月初旬、西日本を中心に全国的に広い範囲で発生した豪雨による水害や土砂災害に対して、多くの避難所が設置されています。本サイトは、浸水や土砂災害および避難に伴い起こり得る感染症とその関連情報についてまとめたものです。

被災地において特に注意すべき感染症

●避難所等の集団生活で発生しうる感染症・急性胃腸炎／急性下痢・急性呼吸器感染症。●災害そのものに起因する感染症・レジオネラ症・レプトスピラ症・破傷風。

※なお、麻疹は感染力が強いため、被災地周辺地域での発生状況に注意が必要

リーフレット集

以下は被災地、避難所において感染症予防・消毒等を行う上で参考になると考えられる主な情報のリンク集です。

●暫定版ガイダンス_一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法/日本環境感染学会

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/suigaiji-guidance_zanteiban.pdf

●手洗い/国立感染症研究所

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disasters/handhygiene_20160424.pdf

●咳エチケット/国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disasters/coughetiquette20160424.pdf>

●避難所におけるトイレ清掃のポイント/東北危機管理感染症ネットワーク

<http://www.tohoku-icnet.ac/shinsai/images/pdf/hotline07.pdf>

●消毒薬使用ガイドライン 2015/東北危機管理感染症ネットワーク

http://www.tohoku-icnet.ac/news/files/post_151002.pdf

●がれき撤去作業等の際の感染予防について/国立感染症研究所

<https://idsc.niid.go.jp/earthquake2011/IDSC/20110331gareki.html>

●保育所における感染症対策ガイドライン 2012年改定版/厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/hoiku02.pdf>

●高齢者介護施設における感染対策マニュアル (PDF リンク集) 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/>

被災地・避難所でボランティアを計画されている皆様の感染症予防について

2018年7月

被災地においては、水系・粉塵曝露を原因とした感染症や避難所での密集した集団生活による感染症が流行するリスクがあります。ボランティアで被災地・避難所へ向かわれる方には、主に感染症予防（特に持ち込みおよび自身の罹患の予防）という観点から、是非以下の点についてご留意ください。

●ご自身の体調が悪い場合は、ボランティアの延期を検討し、体調が完全に回復してから現地に向かうようにしてください。

●ワクチンで予防できる疾患に関しては（以下を参照）、母子健康手帳などでご自身のワクチン接種歴を確認し、望ましいと考えられるワクチンについては、可能な限り出発前に接種してから現地に向かうことを推奨します。

（優先順位：高◎、中○、低△）

- ◎ 麻疹・風疹混合ワクチン（これまでに罹ったことがなく、2回の接種が終了していない場合）

- ○ 破傷風トキソイドワクチン

※創傷を負う可能性がある作業に従事する場合には接種を強く推奨

※特に 45 歳以上では免疫を持っている人が少ないので接種を推奨（参考資料「感染症流行予測調査」）

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/4513-tetanus-yosoku-serum2013.html>

※45 歳未満で、小児期に DPT,DT ワクチンの接種を受けている方は、過去 10 年以内に接種を受けていなければ、1 回の追加接種を推奨

○ A 型肝炎ワクチン（特に 60 歳未満では免疫保有者が少なく、接種を推奨）

△ 水痘・おたふくかぜワクチン（これまでに罹ったことがなくワクチンを受けていない場合には、接種を検討）

●現地での健康管理には、ご自身で十分注意してください。日中活動の際には熱中症にも十分留意して適宜水分補給等を行ってください。

●被災地で体調の悪い時は、ボランティアセンターあるいはそのチームのリーダー、健康管理者などに告げて、第一線を離れて下さい。ご本人のためだけでなく、被災された方々に感染を拡大させないために重要です。

●野外活動を行う際には、ダニ媒介感染症についても注意が必要です。森林や草地等に入られる場合、ダニ媒介性疾患（日本紅斑熱、ツツガムシ病、SFTS 等）の感染の可能性があるため、森林や草地等に入られる場合は長袖、長ズボン及び足を完全に覆う服装をして肌の露出を少なくすることが重要です。（「マダニ対策、今できること」参照：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>）。

●咳エチケット（マスクの着用※、咳き込むときに口を覆うことなど）、飲食前、トイレ後の手指衛生など（擦式

アルコール手指消毒薬、アルコール綿の小パッケージなどの持参を推奨)、可能な限りの感染症予防策を心掛けてください。

※被災地・避難所ではマスクが不足している場合があります。ご自身で使用されるマスクは、十分な枚数ご持参ください。

感染症を被災地に持ち込まない、およびご自身が罹患しないために、最大限の努力をよろしくお願いします。

(文責) 国立感染症研究所感染症疫学センター